



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3583 URL <http://www.aubex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 則義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 塚越 孝弘 (TEL) 03-6701-3200  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,816	2.6	415	△25.2	382	△28.4	252	△20.4
28年3月期第3四半期	3,718	7.5	556	42.1	533	33.8	316	△13.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 263百万円(△17.0%) 28年3月期第3四半期 317百万円(△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	18.32	—
28年3月期第3四半期	23.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,115	4,282	52.8
28年3月期	7,863	4,092	51.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,282百万円 28年3月期 4,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	4.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,255	4.7	676	△10.8	650	△7.6	440	△4.0	31.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	15,463,116株	28年3月期	15,463,116株
29年3月期3Q	1,681,929株	28年3月期	1,693,824株
29年3月期3Q	13,773,627株	28年3月期3Q	13,773,396株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調で推移していましたが、中国及び新興国経済の減速、設備投資の足踏みや為替レートの急変動などの影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、平成28年11月末に研究開発部門と物流部門を集約させた「オーベクスグループ千葉ニューテックセンター」を千葉県印西市に新築しました。この新たな拠点において、グループの研究開発の強化及び物流の合理化を積極的に進めてまいります。また、当社グループは、「チャレンジ&イノベーション」をスローガンとした第6次中期経営計画（2016年度から2018年度）を策定し推進しております。中期経営計画の基本方針「新しい価値の創造と更なるグローバル展開」のもと、計画達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,816百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は415百万円（前年同四半期比25.2%減）、経常利益は382百万円（前年同四半期比28.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は252百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### （テクノ製品事業）

テクノ製品事業は、輸出売上が引き続き堅調に推移しました結果、売上高は2,910百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は上期の円高進行による影響などもあり614百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

#### （メディカル製品事業）

メディカル製品事業は、競合他社との厳しい市場競争の状況の中、主力製品のインフューザー及びガイドワイヤーの販売に注力しました結果、売上高は903百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同四半期比59.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、8,115百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）908百万円の増加、仕掛品140百万円の増加、現金及び預金843百万円の減少などによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、3,832百万円となりました。これは主に、その他の流動負債226百万円の増加、長期借入金118百万円の増加、未払法人税等209百万円の減少、賞与引当金66百万円の減少などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ189百万円増加し、4,282百万円となりました。これは主に、利益剰余金192百万円の増加などによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

#### (取締役、監査役及び当社子会社の一部の取締役に対する株式給付信託(BBT)導入)

当社は、平成28年6月24日開催の第131期定時株主総会決議に基づき、平成28年8月25日より当社の取締役、監査役及び当社子会社の一部の取締役(以下、「役員等」といいます。)に対する新たな株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。本制度は、取締役(社外役員は除きます。)については、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを、社外取締役及び監査役については、経営の健全性と社会的信頼の確保を通じた当社に対する社会的評価の向上を動機付けることを、それぞれ目的としております。

#### (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、役員等に対して当社及び本制度の対象となる当社子会社が定める役員等株式給付規程に基づき、業績達成度等に応じて付与されたポイントに相当する当社株式及び当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭が信託を通じて給付される株式報酬制度です。

#### (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、65,092千円及び340,800株であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,052,479	1,208,952
受取手形及び売掛金	1,137,270	1,122,312
商品及び製品	271,593	218,742
仕掛品	1,077,104	1,217,397
原材料及び貯蔵品	262,539	250,512
繰延税金資産	105,835	42,817
その他	165,473	235,529
貸倒引当金	△3,999	△4,197
流動資産合計	5,068,296	4,292,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,029,178	2,970,526
減価償却累計額	△1,438,395	△1,471,457
建物及び構築物(純額)	590,782	1,499,068
機械装置及び運搬具	2,451,831	2,593,994
減価償却累計額	△2,069,854	△2,145,543
機械装置及び運搬具(純額)	381,976	448,451
土地	1,396,237	1,389,457
リース資産	95,171	142,100
減価償却累計額	△26,396	△28,419
リース資産(純額)	68,774	113,680
建設仮勘定	93,362	57,235
その他	337,945	365,117
減価償却累計額	△309,884	△319,573
その他(純額)	28,060	45,543
有形固定資産合計	2,559,195	3,553,438
無形固定資産		
特許権	5,520	5,375
リース資産	5,955	4,855
その他	11,781	10,965
無形固定資産合計	23,257	21,197
投資その他の資産		
投資有価証券	142,001	174,132
出資金	210	210
繰延税金資産	2,754	5,121
その他	79,018	80,240
貸倒引当金	△11,283	△11,283
投資その他の資産合計	212,701	248,421
固定資産合計	2,795,153	3,823,057
資産合計	7,863,450	8,115,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,692	466,198
1年内返済予定の長期借入金	214,792	205,792
リース債務	18,213	26,481
未払法人税等	213,009	3,094
賞与引当金	134,637	68,367
製品自主回収関連損失引当金	44,769	—
その他	258,717	484,736
流動負債合計	1,363,831	1,254,671
固定負債		
長期借入金	1,926,488	2,054,294
リース債務	55,409	89,447
繰延税金負債	4,067	18,467
再評価に係る繰延税金負債	31,616	31,616
株式給付引当金	26,419	35,993
厚生年金基金解散損失引当金	22,205	22,205
退職給付に係る負債	339,764	324,940
その他	745	745
固定負債合計	2,406,715	2,577,710
負債合計	3,770,547	3,832,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	496,043	518,455
利益剰余金	1,802,680	1,994,774
自己株式	△195,796	△218,951
株主資本合計	4,042,762	4,234,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,641	96,034
土地再評価差額金	△77,128	△77,128
為替換算調整勘定	40,756	29,725
その他の包括利益累計額合計	37,269	48,630
非支配株主持分	12,871	—
純資産合計	4,092,902	4,282,743
負債純資産合計	7,863,450	8,115,125

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,718,308	3,816,720
売上原価	2,359,359	2,595,048
売上総利益	1,358,949	1,221,671
販売費及び一般管理費	802,932	805,938
営業利益	556,016	415,732
営業外収益		
受取利息	1,385	388
受取配当金	1,243	1,340
補助金収入	8,125	10,000
その他	6,590	3,243
営業外収益合計	17,344	14,973
営業外費用		
支払利息	17,378	18,009
為替差損	7,720	17,143
その他	14,758	13,462
営業外費用合計	39,857	48,615
経常利益	533,502	382,089
特別利益		
固定資産売却益	1,177	—
特別利益合計	1,177	—
特別損失		
固定資産除却損	10	219
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	22,205	—
特別損失合計	22,215	219
税金等調整前四半期純利益	512,464	381,870
法人税、住民税及び事業税	162,634	62,806
法人税等調整額	31,700	66,463
法人税等合計	194,335	129,270
四半期純利益	318,129	252,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,140	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,988	252,399



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	318,129	252,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,358	22,393
土地再評価差額金	82	—
為替換算調整勘定	△18,709	△11,031
その他の包括利益合計	△268	11,361
四半期包括利益	317,861	263,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,720	263,761
非支配株主に係る四半期包括利益	1,140	200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,830,790	885,040	3,715,831	2,477	3,718,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	21,870	21,870
計	2,830,790	885,040	3,715,831	24,347	3,740,178
セグメント利益	728,466	56,903	785,369	13,957	799,326

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,369
「その他」の区分の利益	13,957
全社費用(注)	△243,310
四半期連結損益計算書の営業利益	556,016

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,910,997	903,092	3,814,089	2,631	3,816,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,473	3,473	24,282	27,755
計	2,910,997	906,565	3,817,562	26,913	3,844,475
セグメント利益	614,672	23,083	637,755	14,806	652,562

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	637,755
「その他」の区分の利益	14,806
全社費用(注)	△236,829
四半期連結損益計算書の営業利益	415,732

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。